

重量式燃費計の故障時の診断と対策

◆ 1. 燃料が計量容器に供給されない

	考えられる原因・現象	対 策	備 考
1	工場設置の主燃料タンクに十分な燃料がない。	燃料を供給して下さい。	主燃料の不足
2	主燃料タンクと燃費計間の配管系中間バルブ等に異常がある。	正しく配管して下さい。	配管系の異常
3	燃費計の電源スイッチが入ってない。	電源スイッチを入れて下さい。	操作忘れ
4	結線が正しいのに、電源スイッチを入れても表示灯等が点灯しない。	ヒューズを交換して下さい。	ヒューズ切れ
5	計量容器に、供給燃料に相当する下向きの力を加えた時：		
	①力の大きさに応じて、制御表示装置の指示灯（緑/黄）が力に応じて点滅しない。	輸送用ボルト等が正しく処理されてない場合は、取説 7 頁第 5 図に従って正しく処理して下さい。	荷重感度異常
	②指示灯（緑/黄）の点滅に応じて駆動すべき電磁弁の駆動音がしない。	a) 電磁弁のコイル不良であれば、電磁弁を交換して下さい。	電磁弁の異常
		b) 内蔵の電磁弁駆動 SSR の故障のあれば、SSR を交換して下さい。	SSR (ソリッドステートリレー) の異常

◆ 2. エンジンに燃料が供給されない

- ・エンジンへ接続されている配管内部に多量の空気が入っていることが考えられますので、エア抜きを行って下さい。

◆ 3. 燃料のオーバーフロー（計量容器内の燃料レベルの異常）

- ・経年変化や重量検出装置への過度の衝撃により、内蔵の荷重センサー（ロードセル）のゼロ点が狂ってしまったことが考えられます。
 - ①まず、取説 10 頁を参照して「零点調整」を行ってください。（軽微な場合）
 - ②上記「零点調整」を行っても解決できない場合は、ロードセルを交換しなければなりません。このような場合には購入元にご相談下さい。

◆ 4. 電磁弁が閉じているのに燃料が供給される

- ・電磁弁内部の弁周りにゴミが付着してうまく閉じないことが考えられますので、電磁弁を分解掃除してください。